

むつ市地域おこし協力隊活動状況報告書

むつ市長 宮下 宗一郎 殿

隊員氏名 山田 菜生子

次のとおり活動したことを報告します。

【活動報告月：2022年12月分】

1. 実施した活動の概要・状況

12月は以下の活動に加え、17日（土）には川内町の恒例行事にもなっていた「下北ワインとジャズの夕べ」イベントを実施した。また、4日～25日には「ホタテと松ぼっくりスマスツリー」と題し、川内町周辺のホタテと松ぼっくりを使用した工作体験も実施し、体験館内でのイベントを多く実施し、地域内外から多くの方々にご来館いただいた。

〈主な活動〉

○12月3日（土）学習・活動発表会

プラザホテルむつにて行われた「第6回下北ジオパーク 学習・活動発表会」に発表者として参加した。発表では、シェルフォレスト川内として、また地域おこし協力隊として実施している下北地域の自然資源を活用した活動などについて紹介を行うとともに、今後の展望についてもお話しした。

今回の発表会では、下北地域内の小中高校も多く参加しており、それぞれの視点から取り組んだジオパーク活動について、個性豊かな発表を行っており刺激を受けた。

展示コーナーにおいても、普段の活動についてのポスター展示や体験館広報誌「しえるメール」の配布を行ったため、これをきっかけに下北地域のより多くの子どもたち、若者たちとともに活動していければと思う。



○12月18日（日）冊子完成発表会

体験館にて青森県教育委員会委託事業「地域の思いをつなぐ若者育成事業」の一環として、地域の高校生による『川内町の先輩にインタビュー！冊子完成発表会』を行い、川内地域を中心に30名以上の方にお越し頂いた。

『川内町の先輩にインタビュー』事業では、川内町の歴史や魅力、思いをつないでいくため、地域の高校生が体験館にて「漁師」「マタギ」「川内町研究科」の4名にインタビューを行い、その内容を記事にまとめた冊子を作成した。

発表会では、高校生が先輩のお話を聞いて感じたことや考えたことについてお話しし、「新たなホタテの活用方法」など、斬新なアイデアも発表された。アンケートには「紙に残すことでより伝わるものがあった」「下北地域に長年住んでいても知らなかったことを知ることができた」「川内町のために今後も続けてほしい」などの感想が寄せられた。「地域の思いをつなぐ若者育成事業」は今年度末で区切りを迎えるが、川内地区担当の地域おこし協力隊として、今回気づくことのできた「地域の思い」を途絶えさせず、つないでいけるよう尽力していきたい。



2. 翌月の活動予定

1月は下記の活動に加え、引き続きカマイルカの骨格標本作成作業を行う。

1月13日（金）やまぼうし立石さん取材

1月28日（土）県民局地域づくりプレイヤー事業